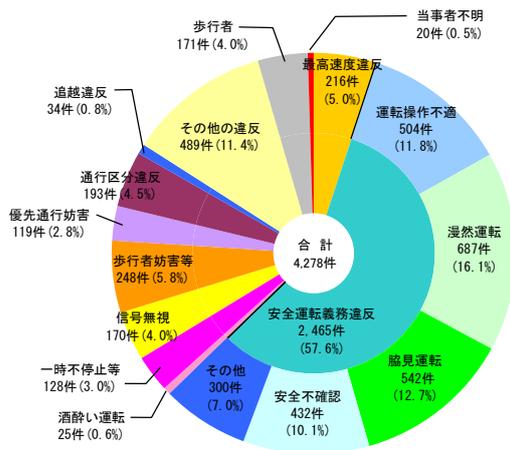


【参考 2】交通事故死者数等の削減にあたっての ITS の役割

- 交通事故死者の大半は、安全運転義務違反（運転操作不適、漫然運転、わき見運転、安全不確認等）や、一時不停止、信号無視等が占める。
- したがって、安全運転支援システムの導入等によって、運転者に対し、注意情報を提供することによって、交通事故を減らせる可能性がある。

法令違反別死亡事故発生件数（H25 年）



交通安全に係る施策の分類

<交通事故未然防止策>

道路インフラに係る施策

歩行者等の安全性の向上
交通安全インフラの整備等

車両安全に係る施策

安全性基準
検査・点検整備
ASVの普及開発等

ITS

ヒトに係る施策

安全運転確保（運転免許、安全運転管理・指導）
交通安全思想（交通安全教育、普及啓発活動）
道路交通秩序（指導取締り、事故事件捜査等）

<交通事故事後対策>

救助・救急活動の充実
被害者支援（損害賠償の適正化等）

（出典）平成 26 年版交通安全白書

<ITS 施策の推進に係る KPI の考え方>

そのような目標達成に資する施策を念頭においた上で、安全運転支援システム・自動走行システム及び交通データ利活用に係る施策の進捗を管理する観点から重要業績評価指標（KPI）を設定する。

その際、既に日本再興戦略等に記載されている KPI を考慮し、昨今の国内外の産業界等の技術動向を踏まえ、それぞれの普及に関わる指標（普及台数、普及率）と産業競争力に関わる指標（世界シェア、輸出等）として、以下の通り設定することとし、その計測方法等については、今後更に検討を行う。